CASIO

Logosease

Logosease RG-004・RG-005BA

取扱説明書 兼 保証書 ver.3.1

山形カシオ株式会社

ユーザー登録をお勧めしています。左のQRコードから「マイページ」にお進みください。登録していただくと、ソフトウェアダウンロードなどのサービスがご利用できます。
http://logosease.yamagata-casio.co.jp

公式HPにて、使い方を動画で見ることができます。右のQRコードからアクセスしてください。

目次

安全に正しくお使いいただくために
1. 使用上のご注意
2. 本機の特徴
3. 本機の外観 / 各部の名称 ·同梱品一覧
4. 装着方法
5. 電源 ON と電源 OFF
6. 音声ガイド
7. 受信について
8. 送信について
9. その他機能
 9－1：チャンネル切替機能
 9－2：ボイスレコーダー機能
 9－3：タッピングによる音量変更機能
 9－4：カスタマイズ機能
 9－5：音声ガイドによるトレーニングモード
 9－6：ホイッスルモード
 9－7：ダイブコンピュータ警告音サポート機能
10. ダイビング後のメンテナンス方法
11. 充電方法
12. 内蔵充電池の取り扱いについて
13. 故障かな？と思ったら
14. 製品仕様
15. 保証について

お買い上げありがとうございます。ご使用の前に「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、読み終わった後も大切に保管してください。

■安全に正しくお使いいただくために

表示について

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

このマークは「禁止内容」を表しています。

安全に関する重要事項は、あなたと他の人々への危害・財産への損害を未然に防ぐために必ず守ってください。

1. 使用上のご注意

⚠警告

本機は、水中での安全を保証するものではありません。

通話が途絶えると危険に陥る状況下での使用はご遠慮ください。また、緊急連絡を主な用途として使用しないでください。

本機を分解・改造しないでください。

異常状態で使用しないでください。発熱・煙が出ている・異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

車内等の直射日光があたる高温の場所に放置しないでください。

充電スタンドに本機をセットするときは、よく水分を拭き取ってから行ってください。特に、USB 端子の部分の水分がついていないことをご確認ください。
水滴が付着しますと、USB に接続してあるPC などの機器が壊れる可能性もあります。

通電中の本機を暖房器具の近くに置かないでください。内部の温度が上がり、火災・やけど・故障の恐れがあります。

USB ケーブルを傷つけたり、破損させたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注意

Logosease RG004 は 55m防水、RG005-BA は 42m防水となっております。それ以上の深さに持ち込むことはご遠慮ください。
※レジャーダイビングの限界水深は 40m までです。

・中性洗剤などの界面活性剤は装置内部への水の進入を促進します。曇り止めなど直接装置にかけないようにしてください。また、装置に付着した場合は速やかに真水や海水で洗い流してください。

・高圧エアーで水分を吹き飛ばす事は行わないで下さい。内部への水の進入の原因になることがあります。

・本機を薬剤に浸けておくと劣化の原因となります。整髪料や中性洗剤、日焼け止めなどがついた場合は速やかに真水で洗い流してください。

・地面等への落下はさせないでください。エントリーは普通にしていただいてかまいません。

2. 本機の特徴

■本機は、水中マスク、レギュレータなどのレジャーダイビングの装備をつけたままで会話ができるダイブトランシーバーです。従来のダイビング器材と干渉せず、ダイビングの邪魔にならないコンパクトな形状は、マイク、スピーカー共に骨伝導方式にすることで実現しています。

■本機は、トランシーバーと同じように会話できます。話したいときに送信モードにし、話し終わると送信モードを解除します。電話のように送信と受信を同時におこなうことはできません。
一台が送信すると、周りの全ての装置が受信できます。複数が送信すると、混じり合った声に聞こえます。

■送受信は超音波を使っています。遠くに離れれば小さくなり、岩陰に隠れた時も小さくなります。
正面を向いて話し合うときがもっとも感度が良くなります。また、近くの人の声が大きく、遠くの人の声が小さく聞こえます。

■お使いはじめは、レギュレータを咥えて話すトレーニングをおこなうことがスムーズな会話コミュニケーションの重要なポイントになります。

はじめに、付属の会話トレーニングシートをご活用の上、トレーニングをおこなってください。大きい声で、ゆっくり、区切って話します。話せば話すほど、上達します。

これらの特性を理解して、水中での会話をお楽しみください。

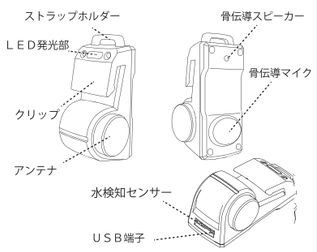
重要　実際に水中でお話しする前に…

はじめは、レギュレータを咥えて会話をするトレーニングをおこなってください。トレーニングモードで練習されることをオススメします。

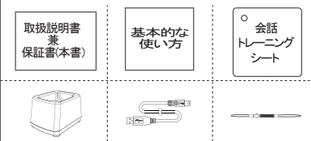
水中会話にスムーズに慣れていただくために、付属の「会話トレーニングシート」を使い、発音の仕方や会話のポイントをつかんでください。

3. 本機の外観 / 各部の名称・同梱品一覧

■本体

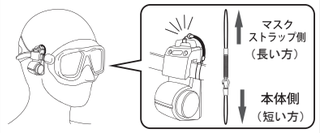


■同梱品

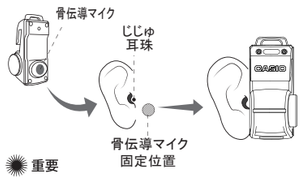


4. 装着方法

本機は、マスクストラップの右側にクリップで取り付けます。また、落下防止のため、本体のストラップホルダーと、ご使用のマスクのマスクストラップそれぞれに付属のストラップを通してください。ご購入後は最初に充電を行ってください。



【骨伝導マイク固定位置】



骨伝導マイク
固定位置

重要

骨伝導マイク部は耳珠（じじゅ）の前方下側にセットしてください（図参照）。骨に直接当てなくても骨から伝わる小さな振動を拾うので、マイク部を当てても痛くならない位置で、顔に密着させてください。
使用者同士で、最も音声が聞こえやすい位置に調整してください。スピーカーは、どこの位置にあっても性能に大きな差異はありません。

アンテナは正面を向いており、視線の先にもっとも強く超音波が届くように設計されています。
アンテナに付着物や遮蔽物、気泡などがつくと、送受信性能が劣化します。

【フードとの併用について】

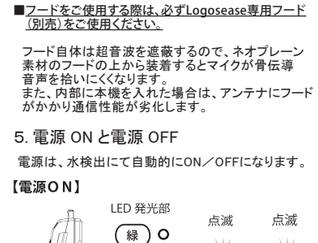
■フードをご使用する際は、必ずLogosease専用フード（別売）をご使用ください。

フード自体は超音波を遮蔽するので、ネオプレーン素材のフードの上から装着するとマイクが骨伝導音声を拾いにくくなります。
また、内部に本機を入れた場合は、アンテナにフードがかかり通信性能が劣化します。

5. 電源 ON と電源 OFF

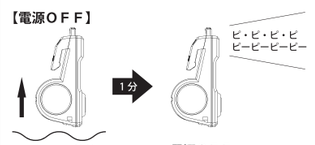
電源は、水検出にて自動的にON／OFFになります。

【電源ＯＮ】



電源ON後、2秒間バッテリーの充電状態を知らせるLEDが表示されます。赤の点滅は充電されていない状態ですので充電して下さい。
緑の状態は満充電です。青は1回分のダイビングには間に合う充電容量です。充電されていない場合は、そのまま電源OFFしますので、充電してください。
バッテリーが切れると時刻が初期化されます。
充電後、カスタマイズ機能を立ち上げてLogoseaseを認識させると現在時刻になります。

【電源ＯＦＦ】



電源ＯＮ状態　　電源ＯＦＦ

電源は、1分間水から出すと自動的にOFFになります。

6. 音声ガイド

（バージョンV201033より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

音声ガイドが、操作の説明や指示、現在選択されているモードなどを音声で伝えます。詳しくは裏面の音声ガイド資料を参照ください。

7. 受信について

電源ONから2秒間充電状態を表示し、音声ガイドの操作説明が流れた後に自動的に受信モードになります。
受信時は音声が入るまでは無音状態です。誰かが送信すると、スピーカーから音声が出力されます。受信モードでは、LED部が黄色※ で1秒周期で点滅します。
※初期設定（Aチャンネル）時

8. 送信について

送信モードへの切り替え方法は2通りあります。

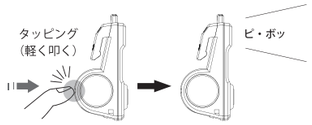
■VOX（ハンズフリー）機能で切り替え
（バージョンV201016より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

VOX機能は、発声することで自動的に送信モードにする機能です。受信モード時に「いっ！」などの明瞭な音声を最初に発声してください。スピーカーからピ・ポッという音がなり、自動的に送信モードへ入ります。
音声をスイッチ代わりにしていますので、「いっ！」などの最初の音声は相手には通信されません。
この機能を使うことでハンズフリーでの会話が楽しめます。

※Logoseaseは音を受信している間はVOXが効きません。

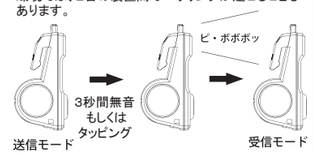
■タッピングで切り替え

装置の側面を一回だけ指先で軽く叩いてください。
骨伝導スピーカーからピ・ポッという音が聞こえて、送信状態になります。
※加速度センサーによってタッピングを検知しています。



送信モードでは、LED部が桃色で点灯します。送信終了は、3秒間の無音か、タッピング1回のどちらかで終了します。終了時は、自身のスピーカーからピ・ポポポッと聞こえ、受信状態へ切り替わります。

※非常に近距離であったり、プールなどの反響の多い環境では、2台の装置間でハウリングが起こることもあります。



9. その他機能

9−1〔チャンネル切替機能〕（RG004のみ）

チャンネルは、Aチャンネル・Bチャンネル・Cチャンネルの3つのチャンネルから選択できます。

・Aチャンネル：　受信時は黄色点滅
・Bチャンネル：　受信時は青色点滅
・Cチャンネル：　受信時は水色点滅

チャンネル毎に通信特性が異なります。送信パワーが最もあり、指向性が広いのがAチャンネルです。
BチャンネルとCチャンネルはAチャンネルに比べ送信パワーが落ちます。混信時はBチャネルかCチャンネルを使うことで他の人に聞かれることなく、会話を楽しむことが出来ます。

※B・Cチャンネル同士は近くで話すと話の内容は伝わりませんが、わずかに干渉する場合があります。

チャンネルの初期設定はAチャンネルです。パソコンのカスタマイズツールで変更するか、又はタッピングにより水中、陸上のどちらでも変更することができます。
タッピングによる変更は、裏面の音声ガイド資料を参照して切替えを行ってください。

9−2〔ボイスレコーダー機能〕（RG004のみ）

RG−004 は 512MB のフラッシュメモリを持っています。ダイビング1本毎に音声を録音し、ダイビングレコーダーとしてダイバーの皆さんをサポートします。
音声の録音には、4つの動作パターンを指定できます。音声ファイルは、ダイビング1本につき、1つのファイルになります。

①“All record”（送受信音録音）モード
　送信音声、及び、受信音声を録音します。
　初期設定状態になります。設定を変更するにはカスタマイズ機能で変更して下さい。

②“Transmitting record”（送信音録音）モード
　送信音声を録音します。

③“Receiving record”（受信音録音）モード
　受信音声をファイルに録音します。

④“Record only ”（ボイスレコーダー）モード
　送受信は行わずに、自分の音声のみを録音します。送受信を一切せずに、ボイスレコーダーとして機能するモードです。通話機として Logosease を使わないでボイスレコーダーとして使う場合に利用してください。
　使い方は、タッピング、もしくは、VOXで送信モードにすることで、音声を録音します。ボイスレコーダーモードは、LEDが白の点滅状態で、録音中はピンクで点灯します。

・音声仕様
　・8KHzサンプリングレート、モノラル
　・16ビット量子化コード
　・ファイル形式は、wav 形式です。
　・最大480分の音声データを格納できます。

・フォルダー構成
　VOICE フォルダーの下に、音声データファイルを格納します。ファイルは連番で1～99までの99本まで格納できます。
　ファイル名は以下のルールで付けられます。
　「 RG4-0001.WAV ～ RG4-0099.WAV」
　99番まで使い切った場合は、古いファイルから上書きしていきます。書き込んでいる途中で容量が足りなくなった場合は、そこで書き込みを停止します。

・ 音声の取り出し方
　Windowsパソコン－USBハブ－付属のUSBケーブル－充電スタンドの順で接続してください。ダイビング後、水滴を拭き取ったLogoseaseを充電スタンドに接続するとLogoseaseがUSBメモリとして認識されますので、〔VOICE〕フォルダから音声データファイルを取り出してください。接続から10分間アクセスしない場合、自動的にLogoseaseへの接続が遮断されます。接続から10分以上経過した場合は、再度接続してください。

9−3〔タッピングによる音量変更機能〕

（バージョンV201033より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

受信モードで4回タッピングすると、受信音量変更モードに入ります。音声ガイドに従って再度4回タッピングすると音量を変更できます。この方法で設定できる音量レベルは、最大レベルの5と3のみです。

9−4〔カスタマイズ機能〕

（バージョンV201033より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

本機能は WindowsのXP,Vista,7,10でのみ動作します。また、必ずUSBハブを介してご使用ください。

・音量調整（Volume）
　5段階に音量を調整できます。音量を上げると遠くの音声も大きく聞こえるようになりますが、レギュレータの種類によっては自身の呼気音も本体スピーカーから大きく聞こえることがあります。近距離の会話では音量を調整してください。デフォルトでは、最大の5です。

・送信自動OFFの設定(Automatic switching from “Transmitting”to”Receiving”)
　送信自動OFFの有無の設定ができます。
　3秒間無音が続くと自動的に送信をOFFします。
　・OFF　－使わない
　・ON　－使う（デフォルト）

・VOX機能（Hands-free-mode）
　VOX機能の有無、入りやすさを設定できます。
　・OFF　－使わない
　入りやすさは1，2，3，4，5の順で入りやすくなります。
　デフォルトは3です。

・チャンネル設定（Channel）
　チャンネルの設定ができます。
　・Aチャンネル　（デフォルト）
　・Bチャンネル
　・Cチャンネル

・ボイスレコーダー機能(Voice Recorder)
　次の4つの動作を設定できます。
　・OFF　－使わない
　・All record（デフォルト）
　・Transmitting record
　・Receiving record
　・Record only

・ダイブコンピュータ警告音サポート設定（Dive computer interface）
　ダイブコンピュータの警告音をLogoseaseが知らせます。
　・OFF　－使用しない（デフォルト）
　・Beep　－ブザー音のみ
　・Voice－ブザー音及び音声

・音声ガイド設定(Voice guide)
　・High　－音声ガイドを全部聞く
　・Middle－Highよりも少ない（デフォルト）
　・Low　－最も少ない

・エアーチェックタイマー設定（Air Check Timer）
（バージョンV201036より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

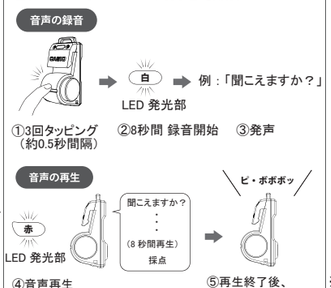
　設定した時間に”Check Air”と音声で知らせます。
　・OFF　－使わない(デフォルト)
　・ON　－使う

9−5〔音声ガイドによるトレーニングモード〕

（バージョンV201033より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

トレーニングモードは、上手な会話方法を学習する為のモードです。トレーニングモードに切り替えると、お客様の音声がLogosease本体内に一時的に録音・再生されます。自分の音声がどのような発音で相手に届いているかを確認することができます。発音の練習や、音量、骨伝導マイクの装着方法の確認にご活用ください。

■トレーニングモードへの切り替え方法



9−6〔ホイッスルモード〕

（バージョンV201026より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

「ピーッ、ピーッ」というブザー音をLogoseaseを装着している他のダイバーへ送信することができる機能です。

①5回以上タッピングすると「ピーッ、ピーッ」というブザー音を連続して送信し続けます。その際、スピーカーからも同じブザー音が鳴ります。
②ホイッスルモード時はLED発光部が赤点滅します。
③もう一度タッピングすると受信モードに戻ります。
　誤ってホイッスルモードに入ってしまった場合は速やかに受信モードに戻してください。

バージョンV201033より、「ピーッ、ピーッ」というブザー音とブザー音の間に相手の声を聞くことができます。また、ダイブコンピュータの連動の音声も聞く事ができます。

9−7〔ダイブコンピュータ警告音サポート機能〕

（バージョンV201033より追加　LGS−RG004・LGS−RG005BA）

「対応する市販のダイブコンピュータの警告ブザー音をLogoseaseの骨伝導マイクで検出して簡単な音声やブザー音に変換し、警告内容を分かりやすく通知します。音声やブザー音はLogoseaseの骨伝導スピーカーを通じて発するので、よりダイビングに警告内容をダイバーへ伝えることが可能です。
例えば、浮上速度違反であればダイブコンピューターの“ピーピー”というブザー音を検出し、Logoseaseの骨伝導スピーカーから「ゆっくり、ゆっくり」と分かりやすい音声でダイバーへ知らせます。

※対応機種（社名50音順）
・DC Solar /株式会社タバタ
　（シリアルナンバーが(4)以外で始まるもの）

・DC Solar　Link/株式会社タバタ（全数）

・DIVE DEMO SOLIS TITANIUM /株式会社ビーイズム
　（シリアルナンバーが(14)以外で始まるもの）

・Calm /日本アクアラング株式会社
　（シリアルナンバーが(4)以外で始まるもの）

上記機種で対象外のシリアルナンバーをご使用の場合、2015年のソフトウェアをインストールすることでLogoseaseとの連動機能が使用可能になります。
詳しくは、販売各社にお問い合わせください。

初期設定は“OFF”（使わない）です。
モードは、カスタマイズ設定ツール上で変更が可能です。

※Logoseaseが音声を受信中に警告ブザー音を検出した場合、受信中の音声よりも大きく聞こえます。
※Logoseaseが音声を送信中に警告ブザー音を検出した場合、送信終了時に音声やブザーで通知します。
※対象以外のダイブコンピュータ、及びその他の器材が発信する類似の音に反応し、音声やブザー音が通知される場合があります。
※ダイブコンピュータのブザー音がLogoseaseまで届かないと本機能は動作しません。
※使用環境により、ダイブコンピュータのブザー音が検出できない場合があります。
※お客様以外の方がお持ちのダイブコンピュータのブザー音をLogoseaseが検出した場合でも警告音声、警告音が流れます。

ダイブコンピュータ警告音サポート機能 仕様

	警告パターン	ダイブコンピュータ表示	警告音長さ(秒) DC solar	Calm	DIVE DEMO SOLIS TITANIUM	ロゴシーズ ブザー音・音声
1	M値アラーム	M-OV	3			ブザー音“ピー”
2	NDL 残り3分	NDL部点滅	3	3	3	音声“デコ”
3	減圧潜水警告(DECO)	DECO	6	6	6	音声“デコ”
4	安全停止開始	STOP	1	3	1	音声“とまれ”
5	減圧停止位置より上	↓	6	6	6	音声“とまれ”
6	浮上速度が速い	SLOW	6	6	3	音声“ゆっくり”
7	酸素分圧警告	PO2	6	6	6	ブザー音“ピッ”
8	計測範囲外	EEEE	3	3	3	ブザー音“ピッ”
9	バッテリー警告	BAT	6	6	6	ブザー音“ピッ”
10	アラーム設定、タイマー	表示無し	10	10	10	ブザー音“ピッ”
11	時報	表示無し	1	1	1	ブザー音“ピッ”

バージョンV201033より音声が日本語対応となりました。

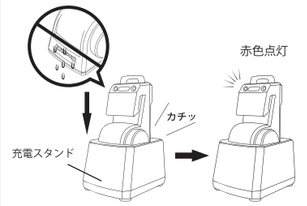
10. ダイビング後のメンテナンス方法

使用後は必ず、毎回真水で洗い海水や汚れを取って、乾いた布で乾拭きをしてから保管してください。
洗剤等での洗浄は行わないでください。

特にUSB端子部に汚れが残ると不良の原因になります。汚れがある場合はブラシなどでこすり、清掃してください。また、塩抜き時に送信中・受信中のものが混在するとハウリングする場合があります。全て受信モードにして塩抜きしてください。

11. 充電方法

本機はリチウムイオンバッテリーを内蔵しており、USBによる充電が可能です。本機は、満充電状態で約3時間駆動します。
1日のダイビングが終わりましたら、充電してください。



本機のUSB端子に水滴や塩などがついていないことを確認してください。付属のUSBケーブルを、充電スタンドとパソコンにそれぞれ接続してください。
充電スタンドに、本体をセットしてください。カチッというまで押し込みます。充電中は、赤のLEDが点灯します。充電完了で、赤のLEDが消灯します。
充電が完了（約2時間）したら充電スタンドから引き抜いてください。

※充電できない場合、USB端子の清掃を行なってください。
LEDが点滅する等の場合は正常に充電できていません。正常に充電できない場合は、USB端子部分をブラシなどでこすり、清掃してから再度充電を行なってください。

12. 内蔵充電池の取り扱いについて

内蔵充電池を長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■0～40℃の温度範囲で充電してください。範囲外の温度では充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。また、範囲外での充電は電池の劣化や故障の原因になります。

■低温環境でのご使用は、内蔵充電池の容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。

■内蔵充電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、高充電状態での高温保存（使用）は、劣化を招くことがあります。

■充電でも機能が回復しない場合は寿命ですので内蔵充電池の交換となります。
販売店にご相談ください。
（内蔵充電池の交換は有料です。）

■内蔵充電池は、リサイクルできます。製品を廃棄する際、内蔵バッテリーの取り外しはお客様ご自身ではおこなわず、山形カシオ マリンシステムまでご相談ください。

13. 故障かな？と思ったら

・充電しても本体の電源が入らない。もしくはすぐに電源が切れる。
　→内蔵充電池の寿命です。販売店にご相談ください。内蔵充電池はメーカー交換となります。

・USB充電がうまく機能しない。
　→本機および充電スタンドの接点部をブラシで清掃してください。0～40℃の温度環境で充電してください。

・水中で電源OFFになる。
　→水検出部に気泡がつくと電源が切れる場合があります。指でコネクタ部をぬぐってください。

・エキジットしても電源OFFしない。
　→本検出部に水が付着している場合があります。タオルなどで拭き取ってください。また、静電気などで電源が入る場合があります。その場合、1分後に自動で電源が落ちます。

・ハウリングする。
　→壁がある狭い環境（浴槽など）ではハウリングすることもあります。

・見知らぬ人の声がする。
　→海況によっては100m離れた人の声を受信する場合もあります。故障ではありません。

・相手の声が良く聞こえない。
　→海況によって通信距離が変わりますが、下記のA～Eを試してみてください。
　相手（送信側）の問題と、自身（受信側）の問題があります。
　A. 相手と正面に向き合うときがもっとも通話感度が向上します。互いに間逆の場合は、著しく受信感度が低下します。向きを確認してください。
　B. 送信側の骨伝導マイクが 4.装着方法 に記載されている場所に正確に当たっていることを確認してください。
　C. アンテナ部にフード、気泡、その他付着物があると、送信・受信の性能が著しく低下します。確認してください。
　D. 小さな声では届かないこともあります。陸上と同様に離れた人に呼びかける声の大きさで話してみてください。
　E. 岩陰や浅瀬、流れの速いところでは、超音波がうまく届かない 場合があります。これは、故障ではありません。

・受信状態で、ノイズが聞こえる。
　→呼気の際、空気がレギュレータを通る時に超音波が発生し、ノイズとして聞こえることがあります。
　レギュレータの構造によりノイズの度合いは異なりますが、故障ではございません。

・言葉が途切れる（言葉の頭が切れる）。
　→発する言葉・声の大きさなどによっては、頭が切れる場合があります。その時の環境などによって度合いは異なりますが、故障ではございません。

・送信、受信が勝手に切り替わる。
　→送信自動OFF設定を使う場合、無音が3秒間続くと、送信から自動的に受信に切り替わります。
　また、VOX機能を使う場合、レギュレータを吸った時に音声に似た雑音により送信に切り替わることがあります。故障でございません。

その他、詳しくは下記ウェブサイトのサポートページよりFAQをご確認ください。
http://logosease.yamagata-casio.co.jp/

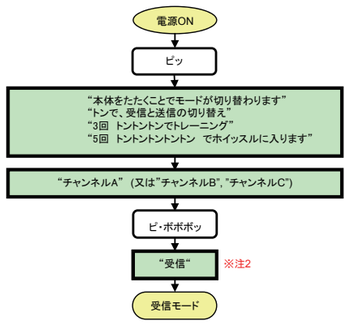
14. 製品仕様

		RG004	RG005BA
外装	カラー	マットブラック、マットイエロー、パウダーピンク	マットホワイト
	サイズ	89.0 ㎜ ×41.0 ㎜ ×44.8 ㎜	89.0 ㎜ ×41.0 ㎜ ×44.8 ㎜
	質量	約 107g	約 107g
	耐水圧	55m	42m
	使用温度	0℃～ 40℃	0℃～ 40℃
音響部	マイク	骨伝導方式	骨伝導方式
	スピーカー	マグネチック型骨伝導方式	マグネチック型骨伝導方式
通信部	チャンネル	3ch（Aチャンネル、Bチャンネル、Cチャンネル）	1ch（Aチャンネル）
	周波数	（超音波）Aチャンネル：32KHz USB Bチャンネル：36KHz USB Cチャンネル：40KHz LSB （音域） 4KHz、SSB-AM方式 ※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。 ※BチャンネルとCチャンネルは近くで話すと話の内容は伝わりませんが、わずかに干渉する場合があります。	（超音波）Aチャンネル：32KHz USB （音域） 4KHz、SSB-AM方式 ※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。
	アンテナ	セラミック圧電素子	セラミック圧電素子
	最大通信距離	50 ～ 100m（Aチャンネル） ※海況により通信範囲は変わります。	50 ～ 100m ※海況により通信範囲は変わります。
	指向性	アンテナ前面が相手と向き合ったときが最大、相反したときが最小の送受信パワーになる。	アンテナ前面が相手と向き合ったときが最大、相反したときが最小の送受信パワーになる。
表示部	電源スイッチON（電池残量表示）	緑色点滅：満充電 青色点滅：ダイビング 1 回分の残量 赤色点滅：要充電	緑色点滅：満充電 青色点滅：ダイビング 1 回分の残量 赤色点滅：要充電
	送信モード	桃色点灯	桃色点灯
	受信モード	Aチャンネル：黄色点滅 Bチャンネル：青色点滅 Cチャンネル：水色点滅	Aチャンネル：黄色点滅
	充電中LED	赤色点灯	赤色点灯
	充電終了LED	充電が完了したら消灯	充電が完了したら消灯
操作部	加速度センサー	受信中のタッピング 1 回：送信開始 送信中のタッピング 1 回：送信終了 ※VOX（ハンズフリー）機能で送信開始も可 ※無音状態 3 秒間で自動的に送信終了も可	受信中のタッピング 1 回：送信開始 送信中のタッピング 1 回：送信終了 ※VOX（ハンズフリー）機能で送信開始も可 ※無音状態 3 秒間で自動的に送信終了も可
記録部	フラッシュメモリ	512MB	―
電源スイッチ	ON	水検知で電源ON	水検知で電源ON
	OFF	1 分間水に入っていないと自動的に電源OFF	1 分間水に入っていないと自動的に電源OFF
USB	バッテリー充電	500mA 充電で約 2 時間	500mA 充電で約 2 時間
バッテリー	定格	Li-ion バッテリー 560mAh	Li-ion バッテリー 560mAh
	充電方式	USB 充電方式	USB 充電方式
	持続時間	3 時間（内、10%が送信時間の場合）	3 時間（内、10%が送信時間の場合）
	保守	Li-ion バッテリーはメーカー交換	Li-ion バッテリーはメーカー交換
その他の機能		ホイッスルモード機能 トレーニングモード機能 音声ガイド機能 カスタマイズ機能 ダイブコンピュータ警告サポート機能 ボイスレコーダー機能	ホイッスルモード機能 トレーニングモード機能 音声ガイド機能 カスタマイズ機能 ダイブコンピュータ警告サポート機能
バージョンアップ		○	○
付属品		充電スタンド ×1、USB ケーブル ×1、ストラップ ×1、会話トレーニングシート ×1	充電スタンド ×1、USB ケーブル ×1、ストラップ ×2、会話トレーニングシート ×2

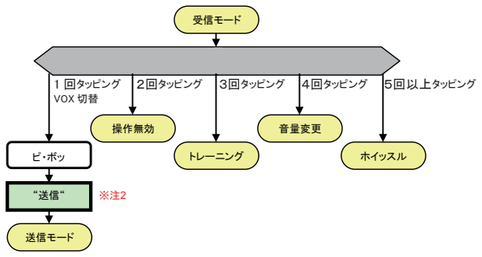
音声ガイド資料
（ バージョンV201033 より追加。 LGS-RG004・LGS-RG005BA）

音声ガイドに従って操作できます。 音声ガイドが流れている間は、 LED が桃色の点滅になり、
相手の声は聞こえません。
※注1 ： カスタマイズツールの Voice Guide Level の設定が High の時は必ず音声が流れ、
Middle では 1 回もトレーニングを実施していない場合のみ音声が流れます。
Low では音声が流れません。
※注2 ： カスタマイズツールの Voice Guide Level の設定が High または Middle の時、 音声が流れます。
※注3 ： RG004 のみ対応

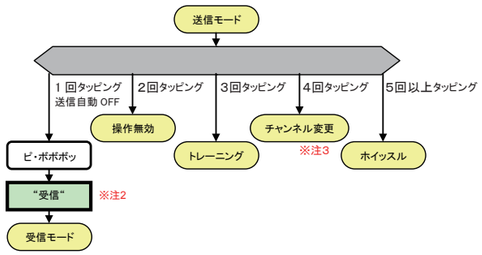
[最初の説明]



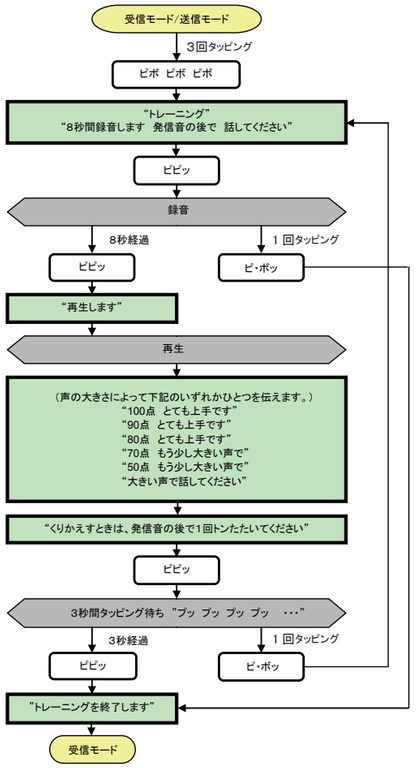
[送信切替と各モード切替]



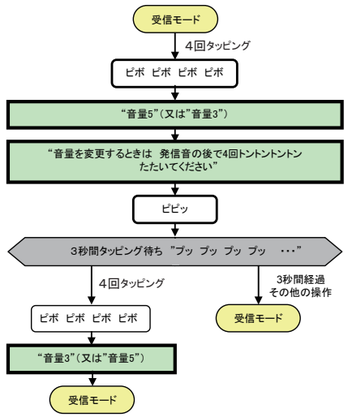
[受信切替と各モード切替]



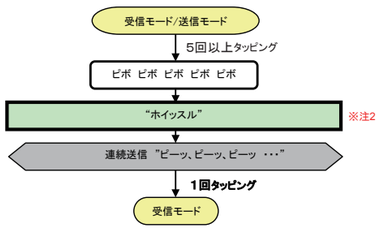
[トレーニングモード]



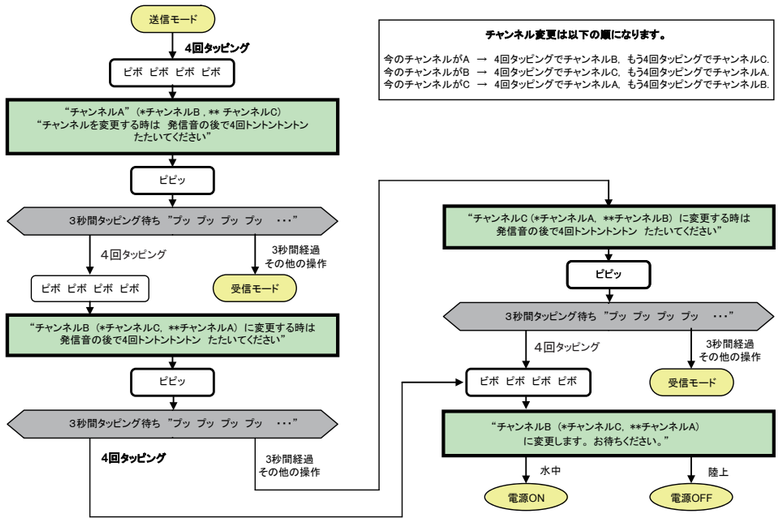
[音量変更]



[ホイッスルモード]



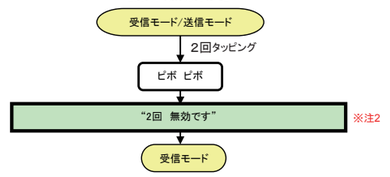
[チャンネル変更]



チャンネル変更は以下の順になります。

今のチャンネルがA → 4回タッピングでチャンネルB, もう4回タッピングでチャンネルC.
今のチャンネルがB → 4回タッピングでチャンネルC, もう4回タッピングでチャンネルA.
今のチャンネルがC → 4回タッピングでチャンネルA, もう4回タッピングでチャンネルB.

[操作無効案内]



Logosease 使い方講座

修理・保証、その他製品に関するお問い合わせは〈山形カシオ マリンシステム〉まで

山形カシオ株式会社 〒999 - 3701 山形県東根市大字東根甲5400番地の1 TEL : 0237 - 43- 5111（代表）
TEL : 0237 - 43 -5168 Mail : msinfo@yamagata.casio.co.jp